



インスピレーションになろう

2019年5月15日

通算第2665回例会

会報通算第2337回



第55期テーマ「理念は、時代の要請に応え」～共に学び、共に気づき、共に行動～

Toba
Rotary
Club

Since 1964



本日の例会プログラム

【ソング】

【ロータリーの目的唱和】

【会長挨拶・報告】

【コラム】 東谷佳一 君

【5月号友の紹介】

【幹事報告】

【出席報告】

【ニコニコBOX報告】

【委員会報告】

【行事】 ゲスト卓話（プログラム委員会担当）

鳥羽市健康福祉課 子育て支援室

副参事 岡本昭太 様

主査 高見加代 様



次回の予告 5月22日

【ソング】 「手に手つないで」

【コラム】 吉田 一喜 君

【行事】 ゲスト卓話(社会奉仕委員会担当)

鳥羽野球スポーツ少年団 代表 大井伸記 様

鳥羽サッカースポーツ少年団代表 松井保明 様

前回の記録 5月8日

【ソング】 「君が代」 「奉仕の理想」

【コラム】 濱口和美 君

【行事】 ゲスト卓話(青少年奉仕委員会担当)

地区青少年奉仕部門 青少年育成小委員会

委員長 下田徳彦 様(高山中央RC)

5/8ホームクラブ	25/31	80.65%
4/17確定出席率	25/29	86.21%

会長挨拶・報告

本日のゲストは、地区青少年奉仕部門青少年育成小委員会 委員長 下田徳彦様（高山中央RC）です。後ほどのゲスト卓話を楽しみにしております。よろしくお願いいたします。

そして、5月19日の伊勢・鳥羽・志摩ロータリアンコンサートですが、小林君と森岡君にご無理をお願いしております。是非、みんなで応援したいと思います。

4月26日、伊勢南RCロータリアンの清水明さんのお別れ会に宮濱幹事と行ってまいりました。

令和になり最初の例会です。鳥羽ロータリー55期のサブテーマ「共に学び、共に気づき、共に行動」です。令和の時代を迎え、改めてこのテーマを行動に移し、持続可能な活動を心掛けましょう。本日も何卒よろしくお願いいたします。

<4月の定例理事会報告>

①第16回「インターナショナルだよ！鳥羽の子ども達」開催の件。

日時：6月9日(日)13:00～15:00

例会は11:30点鐘

場所：鳥羽小学校体育館

②国際青少年交換夏季派遣学生募集については例会にて回覧。

幹事報告

1. 5/12(日)次期青少年奉仕セミナーには、委員長の伊藤信孝君が出席してくださいませ。

2. 近隣クラブ例会変更はございません。

委員会報告

■第56期幹事⇒4/25(木)、6RC会長・幹事・事務局へ出席してまいりました。

■青少年奉仕委員会⇒夏季派遣学生募集の案内を回覧させていただきます。詳しくは事務局へ。

■広報委員会⇒4/24(水)例会のゲスト卓話の内容は原稿が間に合わなかった為、5/15号に掲載させていただきます。

■S A A⇒5/15例会よりクールビズを実施します。

■小林嗣雄君⇒台湾・鐘さんの有志歓迎会の件。

○会 長 濱崎與吉 ○副会長 池田長示 ○幹事 宮濱克行

○会報担当 原田佳代子・和田英孝・小川剛生・丸川竜也

○事務局 〒517-0022 鳥羽市大明東町1-7 鳥羽商工会議所2F

TEL 0599-25-6039 FAX 0599-26-4588 E-mail: tobararc@poplar.ocn.ne.jp

○例会日 毎週水曜日 12時30分～13時30分

○例会場 鳥羽市安楽島町1200-7 日本郵政(株)かんぽの宿鳥羽 TEL 0599-25-4101

鳥羽



■東京小石川クラブ 2017年-2019年米山奨学生

シャチクリ・メルシャト 様 (中国ウイグル地区出身)

“ WATASHIと私、そして日本と「ワタシ」

ー グローカルから、ファッションへー”

日本に来る前のWATASHI、日本に来て以来の私、そして、日本とこれから深い繋がりがある「ワタシ」、全ては今の自分である。

日本に来て最初の私といえば、日本語を話せない、日本語を読めないという苦しい時期を過ごした。「デコボコでも、目の前のこと

を精一杯頑張る」という意識が強かった。私の日本にいる生活はロータリーと出会ってから変わった。2017年、米山奨学生になり、東京小石川ロータリークラブに所属するにことになってから、この2年間、素晴らしい例会に参加し、様々な分野からのお話を聞いて、たくさん勉強ができた。

“Think globally, act locally.”

世界視野で考えて、ローカルに行動する。グローバルとローカルは離れない存在である。だから、グローバルな視点が大事ではないかと、いつも考えている。ファッションデザインが大好きな私は、いつも「ない」ものを「ある」まで自分の能力を身につけて努力し、伝統的な「こと」を現代世界に入り込める「もの」をデザインし作りたいと思って、自分のブランドを作る、という夢をいつでも持っている。

ファッションと言えば、人種・気候・文化などの違いから大きな影響を受けている。だから、ローカル「ファッション」が存在するグローバル市場が、これからも注目すべきではないかと思っている。それに対して、私は、伝統と現代の融合できる「新しい美学」を発信するために、新しいIDEAが必要だと考えている。だから、いろいろなWATASHI、私、そして「ワタシ」から、IDEAのDNAを注目している。

世界のどこでも、もちろん、各地域の地域性からもたらした特定な文化が存在しているし、その「文化」から様々な服飾意識が存在している。私は、WATASHIから「ワタシ」まで、「伝統」・「ファッション」・「芸術」の融合するファッション力を発信したいと考えて、伝統と現代を融合し、様々なデザイン発想を身につけて頑張っていきたいと思っている。

「頑張ったら、自分の夢は叶えられます、自分の理想の人生に近づきます」、ロータリーに入っていたからこそ、それを身にしみて知る毎日である。

いつもありがとうございます。



■国際ロータリー2630地区

青少年奉仕部門 青少年育成小委員会

委員長 下田 徳彦 様

只今ご紹介いただきました地区の青少年育成小委員会委員長の下田と申します。先ほどは温かい歓迎の言葉をいただき、ありがとうございます。また、日頃は青少年育成事業にご理解ご協力いただき、丸川様にも地区委員として出向していただき、ありがとうございます。

本日は自分事として、また委員長として自分自身がこれまでキャリア教育（出前講座）に関わってきて気づいた事をお伝えできたと思っています。また、こちらで来月予定されている「未来の仕事を考えるワークショップ」に活かしていただけたらと願っております。

出前講座の必要性についてお話しする前に、キャリア教育についてお話しします。私は現在小学生と中学生の子供がいるので、一人の親として学校の先生やPTAを通じて、キャリア教育に大きく関わっているなかで、まさにその重要性を感じています。今、社会環境が大きく変化しています。情報化やグローバル化、少子高齢化が進み、今後も益々変化していくと予想されます。そんな世の中に対応して生きていく子供たちには、「生きる力」の育成が必要とされ、それが学校教育に求められています。しかし、学校教育だけで「生きる力」の育成は難しいのが現状であり、地域で協働してキャリア教育を推進し、次代を担う子供たちが社会人として自立させていく事が求められています。キャリア教育という言葉は平成11年にできた比較的新しい言葉で、その活動は平成14年頃から推進され、平成17年頃から、職場体験などが始まり、現在は手引書の見直しなどが行われています。地域で子どもを育てる事は、昔は当たり前でしたが、今はそれができない環境にありますので、文科省は地域にある色々な団体が協力し合って子供たちを育てていくという「社会教育」を「学校教育」「家庭教育」と合わせて、子供の成長を支える新たな仕組みを確立したいと考えています。教育も年々変化しています。学習指導要領が変わり、入試も変わり、勉強ができるだけでなく、主体性や自立性といった「生きる力」を持った子供の育成が求められており、そのために地域で子どもを育てていくという考えが重要になっています。ロータリーはこれまで培ってきた信頼関係やネットワークを活用し、「社会教育」にも大きく関わり、地域の色々な団体へ働きかけることができます。

地域の魅力には、その地域が持つ自然や歴史や文化などがありますが、それを下支えしているのが、そこに住む人やその生活です。更にそれを支えているのが地場産業です。私たちはその地場産業を支える職業人です。これまで出前講座をやってきて分かった事は、学校の先生では、この産業について具体的に子供に伝えることはできないと思っています。なぜなら、実際の経験ではなく自分が得た知識の中でしか、子供たちに伝えることができないからです。例えば建設業という一つの業種の中にも、多くの専門業種があって、それぞれ大変なことや喜びがありますが、そこに実際に携わった人でなければ、本当の事は子供たちには伝わらないと思っています。自分の興味がある仕事や親がやっている家業以外から、職業を知る機会も少なく、自分が知らない職業から将来の職業を選ぶことも無いと考えます。地元の産業の魅力を感じ、地元の産業に携わってもらうためにも、私たちは自分たちの仕事に誇りをもって、仕事の面白さや、やりがい子供たちに生の声で伝える事が大切であることを、出前講座を通して痛感しています。そして地場産業の魅力を伝える事が地域の魅力を伝えることに繋がっていくと信じています。

地区が推奨している出前講座は生徒と対話できるワークショップの様な形式です。出前講座の必要性については、学校側が求めている事業であることです。既にキャリア教育の一環として年間プログラム化されている学校もあります。それに対してロータリーで提供できる事業であることです。多種多様な職種の方が集まる組織であるからこそ、色々な仕事の話ができ、授業の幅も広がります。更に事業そのものが、



ロータリーの基本理念と一致していることです。職業を通して社会に奉仕する「形ある事業」であり、公共イメージの向上にもつながる事業です。

出前講座を継続していく上で重要になるのが「教育委員会との連携」です。鈴鹿市と高山市で取り組んできた事例からも確認できますが、我々ロータリーだけでなく、地域の青少年育成に関わる多くの団体が協力し合える組織と仕組みを市町の教育委員会を中心として構築できれば、多くの学校でも対応できるようになり、継続発展させることができます。また出前講座を続けていくことが、究極の求人採用活動になるのでは？とも考えています。若いうちに企業の事を知ってもらい、職場体験に来てもらい、興味を持ってもらえたら、その先の就職ということもあるのではないかと考えています。必ず言えることは「知らない会社には就職はしない」ことであり、「職業選択肢の中にも入らない」ということです。地方から若者がどんどん流出し、人手不足が益々加速化している悪循環を止めるためにも、まず地元企業の事を子供たち知ってもらう事がとても重要です。それは、私たちが思っているほど、子供たちは地元企業の事を知らないからです。

出前講座のやり方は、ワークショップの様なスタイルで少人数の車座になり、お子さんやお孫さんをイメージして、自分の身内だと思って子供たちに話しかけ、そして子供たちからの意見も聞く時間を作る事にも心がけます。1時限40分の内、20分は自分の話をして、残り20分は子供の話を聞く。20分の内仕事の話に10分は使いますので、難しく考えなくても意外と簡単にできます。成果としては、生徒からは「色んな仕事を知ることができた」という意見が多く、「大人としての生き方や生き様を知る事が勉強になった」という職種には関係ない意見も多くありました。先生からは「授業では見せない表情を見た」という意見が印象的でした。課題も未だたくさんありますが、その都度対応していく所存です。

地区青少年委員会の役割は、多くの会員に「出前講座の必要性」を知っていただき、「実際にやってみよう」というクラブに活動支援をして行くことです。そして、引き続き教育委員会へ働きかけて「出前講座の継続発展」をさせていくことです。これまで3年間委員長をやらせて頂きましたが、なかなか成果が上がらず思い悩んだ時期もありました。残り僅かとなり残念な気持ちもありますが、ここにきて少しづつ成果が出てきたことを実感しています。本日は卓話の機会をいただき、とても温かい雰囲気の中で皆様にお話が出来たことに改めて感謝し、私の卓話の時間とさせていただきます。ありがとうございました。

～ コラム ～

濱口 和美 君

今日のコラムは、鳥羽なかまち界隈の活性化に私がどのような思いで取り組んでいるかという話をします。

私はよく思うのですが、昔は良かったとか、昔はこんなに賑やかだったのにとかという言葉聞きますが、その言葉を聞いた時に私はそれがどうなの？という気持ちになります。私が一緒に活動している「鳥羽なかまち会」では「昭和なレトロな鳥羽なかまち」とか言っていますが、それは単なるキャッチフレーズであって、昔に帰りたいとか昔は良かったとかいう気持ちではありません。私たちが大事なのはこれからどうするかということです。私たちは鳥羽なかまちという小さなエリアで空き家・空き店舗を何とかしようと取り組んでいます。これは過去を取り戻そうとする活動ではなく未来をどのようにしていきたいかという活動です。このことを常に心に思い描きながら一步步点から線へ、線から円へと繋げていくことを目指しています。鳥羽なかまちは世界からみたら小さな点ですが、必ず大きな世界（グローバル）という円（縁）に繋がると信じてこの地域活動に取り組んでいます。これからも私たちの活動を暖かく見守り、応援していただきたいと思います。



5月8日分

青少年奉仕部門 青少年育成小委員会

委員長 下田徳彦様(高山中央RC)

- ・本日は卓話の機会を頂きありがとうございます。地区青少年委員会の活動について理解を深めていただき、鳥羽RCの今後の活動の一助になれば幸甚に存じます。

濱崎君・地区青少年育成小委員会 下田徳彦様、高山よりようこそ鳥羽ロータリーへお越しいただき誠にありがとうございます。

- ・濱口和美君コラム楽しみにしております。

池田君・地区青少年奉仕部門 青少年育成小委員会 委員長 下田徳彦様、本日はよろしくお祈いします。すみません、早退します。

宮濱君・地区青少年奉仕部門 青少年育成小委員会 委員長 下田徳彦様、遠い所お越しいただきありがとうございます。よろしくお祈いします。

- ・令和になりました。あと二ヶ月頑張ります。

伊藤君・下田委員長、ようこそ鳥羽へ！高山から鳥羽まで5時間あまり、遠い所来ていただきありがとうございます。

丸川君・地区青少年奉仕部門 青少年育成小委員会 委員長 下田徳彦様、本日はようこそいらっしやいました。卓話楽しみにしています。

- ・結婚記念日御祝

小林君・青少年奉仕部門 青少年育成小委員会 委員長 下田様、高山より遠い所ようこそお出で下さいました。本日は宜しくお祈いいたします。

東谷君・5月19日は、小林さん・森岡さん、鳥羽を代表してのステージ頑張ってください。外から応援しています。

- ・結婚記念日御祝

中村(泰)・下田委員長殿、ようこそ鳥羽へ。卓話楽しみにしております。本日も宜しくお祈いいたします。

杉原君・令和元年5月5日、三男に女の子を授かりました。写真・動画を見るたびニヤケています。

増田君・青少年奉仕部門 青少年育成小委員会 委員長 下田徳彦様、遠方よりようこそ鳥羽までお越し下さいました。ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

野村君(一)君・地区青少年奉仕部門 青少年育成小委員会 委員長 下田徳彦様、ようこそ鳥羽ロータリーへ。卓話楽しみにしています。

勉強させていただきます。

- ・結婚記念日御祝

山本君・本日もよろしくお祈いします。

吉田君・本日も宜しくお祈いいたします。

- ・夫人誕生日御祝

中野君・長いゴールデンウィークでしたね。皆さんはいかがお過ごしでしたか？今日は高山中央ロータリークラブ下田徳彦様、遠い所お越しいただきありがとうございます。

中村(幸)・高山中央RC下田徳彦様、本日はよろしくお祈いします。

濱口君・青少年育成小委員会 下田委員長様、本日はようこそ鳥羽RCへ！卓話よろしくお祈いいたします。本日コラムさせていただきます。

- ・会員誕生日御祝

野村(保)君・無事帰って来ることができました。皆様ありがとうございます。

- ・結婚記念日御祝(3月)

- ・入会記念日御祝

中村(正)君・下田委員長、本日の卓話楽しみです。濱口和美様、コラムさすがです。追申：令和元年鳥羽ロータリークラブ歴史に残る1回目の司会をさせていただきます。

和田君・会員誕生日御祝

森岡君・夫人誕生日御祝

羽柴君・結婚記念日御祝

西川君・入会記念日御祝

赤木君・入会記念日御祝